

OITA VICTIM SUPPORT CENTER  
公益社団法人 大分被害者支援センター広報誌

41

2023  
March

# ニュースレター

2023年3月発行 発行責任者 千野博之



(別府公園・別府市)

大分県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
**公益社団法人 大分被害者支援センター**  
相談電話：**097-532-7711** (月～金 9時～20時)



相談無料  
秘密厳守

## 性暴力被害者支援 性暴力について

貞永産婦人科医院 院長 貞永明美  
(大分被害者支援センター 理事)



「被害者」という言葉は当事者にとってつらい言葉だと感じる。社会が暴力に立ち向かうためには必要な言葉だが胸にささる。

「性暴力」は人権蹂躪の最たるものと考えますが、本人が語るのが難しい。被害者のなかでも話すのが躊躇されたり、恐れたりする事が多いと感じる。一方では軽く考えられたり、まともに受けとめられなかったりする事もある。日本は性教育もほとんどない。性について真正面から考える機会があまりないまま情報にさらされ、飲み込まれていく現状がある。個人がネットを通し直で世間に繋がり、無防備な若者が被害、加害の当事者になる事もあり得る。

性暴力被害のほとんどは知人からのもので、関係性の優位さを利用したものもある。声をあげにくい状況や本人が暴力と認識しないものもあり、性虐待のように信頼する家族からの被害もある。

私自身はとにかく「あなたは悪くない」事をしっかり伝えて診療をし、大丈夫な事を話しをしている。自分の問題と考え社会的に暴力、特に性暴力を無くす事に取り組む事が自分の仕事だと考えている。

2017年に法改正がなされ親告罪ではなくなり、口腔性交または肛門性交が強制性交に含まれ男性も被害者に含まれるようになった。しかし暴行、脅迫要件はあり、同意年齢は13歳と低いままである。性暴力は「犯罪」に該当しなくても「相手の意」に沿わない「性的な言動、行為を行うこと」をいう。男女間における暴力の調査 {H29年 内閣府} では「異性から無理やり性交されたことがある」女性は13人に1人である。それでも認識されているのは氷山の一角といわれている。H18年度から警察庁における経費の公費負担に始まり、犯罪被害者等の経済的・精神的負担の軽減がはかられ、H30年には性犯罪・性暴力被害者のためとワンストップ支援センターが被害直後からの総合的な支援を目的にすべての都道府県に設置された。まだまだ地域差があったり、十分でない事もあるが、教育をはじめやるべき事はたくさんある。

現場の警察官に性暴力について理解してもらったり、現状を皆様方に知っていただいたりと、できる事から一歩ずつと考えています。

### ～イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン～

毎月11日、イオングループのお店にて、精算時に発行される黄色いレシートを、店内に設置されている投函BOXに投函していただきますと、レシートの合計金額の1%分のギフトカードがイオン株式会社より寄贈されます。イオングループのお店にてお買い物をされる際は、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

## 県警ふれあいコンサート

令和5年2月11日（土）iichikoグランシアタにおいて「第34回県警ふれあいコンサート」が開催されました。

県民と県警を結ぶ“音の架け橋”として活動している警察音楽隊が映画「ジュラシックパーク」のサウンドトラックや「ユーミンコレクション」などの曲を演奏し、1300人の観客を大いに魅了しました。

このコンサートにあわせて、1階ロビーで広報・募金活動を行わせていただきました。コンサートの幕間に司会者である民放テレビのアナウンサーが当センターの紹介をしてくださったことから、ご来場の多くの皆様が帰り際に足を止めて、募金をしてくださりました。ご協力大変ありがとうございました。

なお、賜りましたご寄付は、被害者支援活動に活用させていただきます。



## 令和5年度行事予定

### 犯罪被害者等の支援に関する広報及び啓発活動

- ◇令和5年 6月下旬頃 犯罪被害者支援講演会
- ◇令和5年 11月下旬頃 犯罪被害者支援講演会  
大分市 予定
- ◇犯罪被害者支援の日キャンペーン行事
  - 令和5年9月下旬頃 バザー 予定
  - 令和6年2月下旬頃 チャリティーコンサート予定  
(バザーと同時開催も検討)
- ◇定期街頭活動 毎月1回 大分市内予定
- ◇犯罪被害者週間広報
  - 11月25日から12月1日の期間中、関係機関と連携した街頭活動を実施予定

### 相談員・支援員の養成及び研修事業

- ◇相談員・支援員への継続研修及び全国被害者支援ネットワーク等主催の研修参加
- ◇犯罪被害者支援ボランティア養成講座開催予定

## 令和4年度質の向上研修上半期（九州・沖縄ブロック）

令和4年7月2日(土)・3日(日)の2日間、佐賀市にて「全国被害者支援ネットワーク質の向上研修上半期 九州・沖縄ブロック研修会」が開催され、当センターから4名が参加しました。

研修会では、電話相談、直接的支援等の講義後、ロールプレイを行いました。短時間ではありましたが、ロールプレイの合間には、九州各県から参加した相談員・支援員の方々から各センターの活動状況や課題等について伺う機会もあり、有意義な研修となりました。

コロナ禍下、感染予防対策に留意しながら準備してくださった佐賀VOISSスタッフの皆様、ありがとうございました。

## 全国犯罪被害者支援フォーラム2022・秋期全国研修会

令和4年10月14日(金)から16日(日)の3日間東京都で開催され、当センターから3名が参加しました。

今回のフォーラムのテーマは「今、性犯罪被害者支援に求められるもの」でした。

始めに、犯罪被害者支援に尽力された支援活動員、職員及び団体の表彰式がありました。

基調講演では上谷さくら弁護士が、「被害者に優しく理解があり、権利を守ろうとする熱意ある弁護士が少ないのが現状だ」と話されていました。被害者に手を差し伸べる弁護士が少ないのは非常に残念なことだと思いました。

被害者の声では、犯罪被害者の工藤 千恵さんの講演でした。

「8歳で被害に遭い、これまで自分の感情を押し殺してきた辛く苦しい年月だった」と、過去の経験と心情を話してくださいました。「今もこの先も苦しみは薄れても決して忘れ去ることはできない。被害に遭った人だから可哀そうな人だと決めつけ、全てを否定しないでほしい」とも。最後に、「自分の過去と向き合い、過去と共に生きていく」と力強く話された姿が印象的でした。

15日(土)の分科会は、NPO法人BOND代表、橘ジュンさんの研修会プログラム「SNS犯罪の現状と支援について」に参加しました。

SNSは困難を抱えた若年層の女性にアプローチでき、面談につながる第一歩のツールであること。つながり続けるには、受け手側の心の広さが必要なこと。コロナの影響で相談が全国的に増え、支援が難しく苦勞している、と話されていました。

被害者支援に携わる側の一員として、思い込みや偏見はなかったか、被害者の目線に立った支援を行っていたか、と改めて問いかけるきっかけになりました。

責任の重さと支援の難しさを痛感させられた3日間でした。

## 令和4年度質の向上研修下半期（九州・沖縄ブロック）

令和5年2月4日（土）・5日（日）に佐賀市にて、「質の向上研修下半期 九州・沖縄ブロック研修会」が開催されました。当センターからは2名参加しました。

コロナ禍で中止やリモートになる中、久しぶりの対面での研修でした。対面でしか味わえない、緊張感や熱気を肌で感じることができました。他県の方々から刺激を受け、自身の成長する機会になったと感じています。

研修は、講義・ロールプレイ・グループ討議と大変充実した内容で、今後の課題や新しい発見などが出来、とても有意義な時間となりました。

この研修で学ばせていただいたものを、今後の支援につなげていけるよう精進いたします。ありがとうございました。

## 犯罪被害者週間

毎年「犯罪被害者等基本法」の成立日である、12月1日以前の一週間（11月25日～12月1日）は、「犯罪被害者週間」に定められています。

期間中、事件や事故の被害に遭われたご本人、ご家族、関係者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉又は生活の平穩への配慮の重要性について、一般の方に知っていただき理解を深めていただくことを目的とし、全国で様々な啓発事業等が行われています。

大分被害者支援センターでも、県や警察などの関係機関・団体と連携して街頭広報活動や市役所のロビーで啓発パネル展を実施するなど、社会全体で犯罪被害者等を支え、安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、県民に対する啓発活動に取り組んでいます。

街頭における  
広報活動



日田市役所での啓発パネル展

## センターの運営を支えてくださる皆様～心より感謝申し上げます～

センターの活動は皆様の温かいご支援により支えていただいております。

私たちの活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。皆様から頂戴いたしました会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

なお、記載漏れ、誤字脱字等の不備がございましたら、お手数ですが、事務局（097-532-7776）までご一報くださいますようお願い申し上げます。

敬称略（2022年9月～2023年3月納入分）

### 法人賛助会員

医療法人 大分記念病院  
 児童養護施設 光の園  
 有限会社 岡村環境開発

### 個人賛助会員

今村 豊治	園田 正和
岩下 賢一	高橋 秀聡
小野 ひさえ	高橋 和加恵
鎌田 照章	藤澤 佳美
佐々木 盛二	淀 啓次郎
下川 逸代	

### 寄付金・募金箱

板井 奈穂子	医療法人 ストレスケア若草
梅田 勝治	深川内科クリニック
大井 勝憲	岩尾洋装店
小野 修	サイクルショップコダマ
小村 津代士	府内町本店
西郷 國太	貞永産婦人科医院
利光 宏司	神宮医院
橋本 孝久	東九州石油株式会社 大道SS
ハヤシ コウイチ	
吉田 耕一	

### 寄付金・募金箱

#### 大分県警察本部

##### 警務部

総務課  
 広報課  
 会計課  
 施設装備課  
 警務課  
 厚生課  
 監察課  
 留置管理課  
 情報管理課

##### 生活安全部

生活安全企画課  
 地域課  
 人身安全・少年課  
 サイバー犯罪対策課  
 保安課

#### 刑事部

刑事企画課  
 捜査第一課  
 捜査第二課  
 組織犯罪対策課  
 鑑識課  
 科学捜査研究所

#### 交通部

交通企画課  
 交通指導課  
 交通規制課  
 運転免許課  
 交通機動隊  
 高速道路交通警察隊

#### 警備部

警備企画課  
 外事課  
 警備運用課  
 機動隊

#### 大分県警察学校

大分県警 親交会  
 大分中央警察署  
 大分東警察署  
 大分南警察署  
 別府警察署  
 杵築日出警察署  
 国東警察署  
 豊後高田警察署  
 宇佐警察署  
 中津警察署  
 玖珠警察署  
 日田警察署  
 竹田警察署  
 豊後大野警察署  
 佐伯警察署  
 臼杵津久見警察署

## 広 報 活 動

### 寄付金付自動販売機・募金箱設置 によるご支援のお願い

当センターでは、被害者支援活動の一層の充実を図る為、寄付金付自動販売機・募金箱の設置をお願いしております。

寄付金付自動販売機は、自動販売機から飲み物を買うたびに、売り上げの一部が被害者支援に寄付される仕組みです。趣旨に賛同し、設置していただける事業所・施設・団体様を広く募集しております。電話（097-532-7776）またはメール（info@ovsc.jp）にてご連絡いただけましたら、説明にお伺いします。

是非、皆様のご協力をお願いいたします。

### ホンデリング～本でひろがる支援の輪～

Web（チャリボン）からの受付のみ

1. ISBN コードがついた書籍、規格番号がついた DVD・CD やゲームなどを段ボールに詰めます。  
※寄付可能対象かはチャリボンサイトにあります「おためし査定」にて確認をお願いいたします。
2. チャリボンサイトの「全国被害者支援ネットワーク」のページ<https://www.charibon.jp/partner/nnvs/>にアクセスし、末尾の「本で寄付する」をクリック、お申込フォーム一番下の【個別コード】「N45」と入力してください。
3. ご指定日にヤマト運輸が集荷に伺います。  
※Web でお申込みの場合は、贈与承諾書は必要ありません。

## 賛 助 会 員 ・ 寄 付 の お 願 い

私たちの活動は、皆様の会費・寄付によって支えられています。一緒に支えてくださる皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしております。

#### 【振込先】

①口座名義 こうえきしゃだんほうじん 公益社団法人 おおいたひがいしゃしえんせんたー 大分被害者支援センター りじちよう 理事長 ちの 千野 ひろゆき 博之  
大分銀行 大分駅前支店 普通預金 5256165

②口座名義 こうえきしゃだんほうじん 公益社団法人 おおいたひがいしゃしえんせんたー 大分被害者支援センター  
ゆうちょ銀行 01730-3-111326

#### ◆継続的な支援が可能な方

個人賛助会員： 1口 3,000円

法人賛助会員： 1口 10,000円

※継続的でなくても寄付のご協力もお待ちしております。

※ゆうちょ銀行のみ専用振込用紙がございます。

当センターまでご連絡いただけましたら振込用紙をお送りさせていただきます。

※当センターへの会費・寄付金には税制上の優遇措置があります。

あなたを決してひとりにはしない



大分県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
**公益社団法人 大分被害者支援センター**

〒870-0037 大分市東春日町1番1号  
相談電話：097-532-7711 事務局電話：097-532-7776  
メール：info@ovsc.jp  
ホームページ：http://www.ovsc.jp